



XCAMPUSについて

メタデータ	言語: jpn 出版者: 公開日: 2010-08-12 キーワード (Ja): キーワード (En): 作成者: 斎藤, 清 メールアドレス: 所属:
URL	http://hdl.handle.net/10466/10937

XCAMPUS について

齋藤 清 (神戸商科大学経済研究所)

XCAMPUS (eXploratory Computer Aided Macroeconomic and microeconomic data Processing University System 大学用探索的経済経営データ処理システム) は、筆者が開発したアプリケーション・ソフトウェアで、経済・経営系の大学の教育・研究上必要となるデータベースとデータ処理、グラフィックス表示を一体化しています。WWW ブラウザーや、Windows98/NT のパソコン、UNIX のワークステーション上から授業で多数の学生が一斉処理できるソフトウェアとして、現在9大学(神戸商科大、阪南大、法政大、高知大、広島大、東京経済大、関西大、松山大、金沢大)で稼働し、種々の授業、演習、研究で利用されています。

XCAMPUS には開発順に、汎用機版、UNIX 版、Windows98/95/NT 版、Web 版があります。大阪府立大ではセンターの新システムへの移行に伴い、今回 Windows98/95/NT 版 xcampus と Web 版 xcampus が導入されます。日経 NEEDS (Nikkei Economic Electronic Databank System) データを用いた教育には Windows 版が、学内 LAN 経由のデータ解析には Web 版が利用されます。Web 版は Netscape Navigator や Microsoft Internet Explorer のブラウザさえあれば学内のどこからでもアクセスして利用できます。

XCAMPUS の簡易プログラムの中のマクロ系列コードや企業コード、産業コードを変更するだけで、つまり数値の数字を替える操作だけで、関心のあるマクロや企業、産業の分析結果が表示されます。データ解析としては、長期にわたる時系列分析、産業別のクロスセクション分析、移動勾配分析、位相図解析、3次元図解析、異時点間分析、回帰分析、シミュレーション分析、各種経営・財務分析などが行えます。Web 版 xcampus には、日経 NEEDS の各種コードの検索・閲覧機能も備えています。例えば、三菱という名称のついた企業一覧、大阪府内に本店のある企業一覧、住宅着工に関するマクロ系列一覧等々を出したり、貸借対照表や損益計算書の項目コードを、ブラウザに表示します。

Windows 版では結果がグラフィックス表示されますし、Web 版でも xcampus ビューアという小さなソフトをインストールするだけで、Windows 版と同様にグラフィックス表示が可能です。またクリック1つで、結果を Excel の表計算シートに転送して、好みの処理をすることもできます。コピー&貼り付けで Word や一太郎の文書にグラフを挿入することもできます。

経済学・経営学・会計学・統計学・データ解析・コンピュータ処理といった授業の場で利用されたり、あるいは現実データを取り扱う卒業論文や研究論文に XCAMPUS が利用されることを期待しております。より詳しくは、インターネットのホームページ

<http://xcsv.kobeuc.ac.jp/xcampus/>

をご一覧ください。